

■ 審判委員会役員退任挨拶

2019年4月1日付で東京都サッカー協会審判委員会の役員人事があり、副委員長の小澤恒雄氏と鈴木亮哉氏が退任されました。後任副委員長は蒲澤淳一氏、佐藤貴之氏、高橋早織氏の三氏が副委員長を務めることになりました。

== ハーフ タイム ==
東京 F A 審判委員会
第 5 3 号 (2 0 1 9 年 8 月)



■ 審判委員会前副委員長 小澤恒雄氏

このたび、2019年3月31日をもって東京都サッカー協会審判委員会副委員長を退任いたしました。

2010年登録部長から副委員長に就任いたしました。この間審判を取り巻く環境も変わってきたと感じております。これまでご協力、ご指導賜りました皆様方に、この場をお借りし感謝申し上げます。

審判委員会では、審判員・審判指導者の発掘、育成、強化の取り組みが継続しておこなわれております。今後も、グラスルーツからトップまでの審判員をまとめる、審判委員会にご協力賜りますようお願い申し上げます。

私個人といたしましては、登録部及びインストラクターは継続いたしますので、これまで同様よろしくお願いいたします。

■ 2018シーズン 東京都S2級審判員の勇退者を表彰

2018年シーズンをもって勇退されたサッカー2級審判員の表彰式が、3月21日の東京都S2級審判員開幕前研修会にて行われました。この勇退者表彰は長らく東京都の活動を支えて頂いた功績をたたえ、2018年度より新たに始められたものです。勇退者の皆様には東京都サッカー協会長より記念の表彰状が授与されました。

2018年度を持ってS2級を勇退された皆様は以下の通りです。

須原清貴、時任則子、竹内馨、竹下恵太郎、高橋照雄
(以上5名、敬称略)

5名の審判員の皆様、長らくお疲れ様でした。



S2級勇退表彰者の皆さん

(左から須原氏、高橋氏、時任氏、牧野委員長、竹内氏、竹下氏)

■ 2級審判員昇級者の紹介

2019年度春に新たに6名のサッカー2級審判員と1名のフットサル2級審判員が誕生しました。各審判員の喜びの声を紹介します。



■ サッカー2級審判員昇級 久保貴昭 氏

2019年春サッカー2級審判員に昇級させて頂きました久保貴昭と申します。トレセンや試合後にご指導頂いた都協会、アセッサの皆様。割り当て作業を毎月行って頂いた都協会ご担当者様。日々切磋琢磨した審判員仲間。そして週末の審判活動にいつも快く送り出してくれる家族。多くの支えがあり、今回昇級する事が出来たと思っております。昇級後も、真面目に、真摯に審判活動に取り組んでいきたいと考えておりますので引き続き、よろしくお願いいたします。



■ サッカー2級審判員昇級 小林勇輝 氏

この度、2級審判員に昇級しました、小林勇輝と申します。高校生のときに4級審判員資格を取得し、足掛け10年目。一つの目標としていたシルバーワッペンを手にすることができました。これまではレフェリーとしてのパフォーマンス発揮に力を注いできましたが、これからは「指導」する役割も求められると考えています。普段は高校生に数学とサッカーの指導をしていますが、「2級審判員」として競技規則の正しい解釈を子供たちや大人の方々に伝える力も養っていかねばなりません。積極的に自己研鑽の機会を作り出し、より高い水準でのレフェリングパフォーマンスの追求、競技規則のより深い理解へとつなげていく所存です。よろしくお願いいたします。



■サッカー2級審判員昇級 田原慎乃介 氏

この度2019年度春にS2級に昇級しました、田原慎乃介と申します。
昇級の機会を与えてくださった東京都サッカー協会の皆様、日頃から御指導して下さる上級レフリーの皆様、互いに刺激し切磋琢磨してきた同世代のレフリー仲間やサッカー仲間、両親など様々な方のサポートがあって昇級出来たと思っています。この場をお借りして感謝申し上げます。これからも「選手の為に」という審判員として最も大切な事を忘れずに少しずつ成長していきたいです。これからもご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。



■サッカー2級審判員昇級 津崎泰生 氏

この度、2019年春に2級審判員に昇級いたしました津崎泰生です。選手では味わう事の出来なかった景色をフィールド上で見たいという思いから本格的に審判活動を始めましたが、ようやくスタートラインに立つ事が出来たと感じております。これまでの活動に於いてご指導いただいた皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。

まだまだ未熟ではありますが、これまでの審判活動を通じて多くの方に出会い、経験し自分自身成長させていただきました。より厳しい世界に足を踏み入れますが、そこを越えた景色を楽しみに精進したいと思います。これからも選手の為のレフェリングを心掛け、僭越ではありますがご指導いただいた学びを継承していきたいと思っております。



■サッカー2級審判員昇級 林崎航 氏

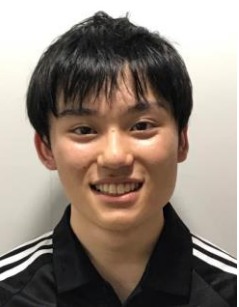
この度、2019年度春に昇級しました、林崎航です。右も左も分からない私がここまで来られたのも、審判委員会の皆様、インストラクターの皆様、諸先輩方、審判員の皆様の支えのおかげです。感謝致します。

選手として限界を感じ、プレーヤーをあきらめながらも、サッカーに対し何か恩返しができないかと考え審判の世界に飛び込みました。サッカーに恩返しをする。この思いは今でも変わらずにいます。選手のため、サッカーのために、多くの仲間たちと共に日々精進し、今後も審判活動に励んでまいります。



■サッカー2級審判員昇級 渡瀬夏葉 氏

2019年度春に昇級させて頂きました、渡瀬夏葉です。審判活動を始めた頃、2級審判員はとても遠い存在のように感じていました。今回私が昇級できたのは今までご指導して下さいました皆様のおかげです。大変感謝しております。これから2級審判員としての自覚と責任を持ち、選手や関係者の方々に納得して頂けるような、また選手が能力を最大限発揮できるようなレフェリングをするために日々精進していきます。まだまだ未熟者ですが、審判員としても、人としても、これからも成長したいと思いますので、ご指導のほど宜しくお願い致します。



■フットサル2級審判員昇級 高橋凜平 氏

この度、フットサル2級審判員に昇級いたしました高橋凜平と申します。昇級にあたり、フットサル部会の皆様、諸先輩方の手厚いサポートをして頂いたことに御礼申し上げます。

私は、2年前まで選手としてフットサルをプレーしてきました。選手の時に仲間として一緒にプレーしていた選手が今では、Fリーグ、地域リーグで活躍している姿を見て私自身も負けられないと思っていました。そんな中での今回の昇級は彼らに一步近づけたようでとても嬉しく思っております。今後は、常に向上心を持ち、より良い審判員になれるよう日々精進して参りたいと思っております。また、今後の東京都のフットサルのレベルアップと普及に少しでも力になればと思っております。最後に、最年少の東京都のフットサル2級審判員(18歳)として「若さ」を強みに頑張って参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

■グラスルーツトレセン開催

2019年3月26日、6月1日において 東京都サッカー協会審判委員会審判統括部グラスルーツパート主催による、各連盟、または区市で活動されている審判員を対象にした審判実技研修会(グラスルーツトレセン)を開催しました。

この活動はこれから審判資格を取得しようと考えている方、4級を取得したけれども審判のことをもっと知りたい、3級取得しているけれども審判割当を受けるためのスキルアップをしたい、といったように受講者の様々なスキルアップの要望に応えるためのものです。内容は審判指導者資格を持った現役の上級審判員や審判インストラクターが指導に当たり、副審のシグナル、主審の判定時の良いポジショニングの確保など、シンプルにわかりやすい内容となっています。

各連盟や区市で活動される審判員に対してのアドバイスや、これから審判割当を受けていこうと思う方への相談など大変有意義な時間となりました。

今後もこのグラスルーツトレセンを継続開催し、審判の裾野を広げていきたいと思えます。



(グラスルーツトレセンの様子)

以下、両日の参加者のコメントを掲載させていただきます。

■2019年3月26日開催 駒沢補助競技場 (女子審判員(大田区) / 岡 麻里子)

知らない方が多く少し緊張した中、スタッフの皆様の良い対応やアップの動き等で少しずつリラックスして行きました。メインメニューは主審と副審の関係で、ファウルの見極め、ファウルサポート、オフサイドを行いました。

主審ではファウルを見極める角度や笛のタイミング、方向指示、副審とのアイコンタクトなどを練習し副審ではファウルサポートの旗のタイミング、慌てずに方向指示するなど練習しました。

少し慣れたところで オフサイドの判定も加わり、監視する事象が増えて どこを監視するか？ファウルとオフサイドのどちらが起るのか？脳トレのようでワクワク練習ができました。

今回スタッフの皆様には 分かりやすいアドバイスをたくさん頂き大変勉強になりました。ありがとうございました。

■2019年6月1日@赤羽スポーツの森 (大学連盟 / 小笠原 諒)

今回このような講習会を受けて、自分は審判という役割の奥深さを感じることができました。試合中に審判が目立つということはあまりないかもしれませんが、しかし、審判がいなければ、間違いなく試合は成立しません。

選手としてピッチから見る景色、ファンとして外から見る景色、そして審判として見る景色がそれぞれ違った事もいい経験になりました。

サッカーという競技の本質というものを少しは肌を持って感じる事が出来ると思えます。

これを読んでいただいて、一人でも多くの方が審判というものに興味を持って頂けたら幸いです。

■東京都審判指導者トレーニングセンター及び、東京都レフリーアカデミースタート

2019年度からの新事業として東京都審判指導者トレーニングセンター(以下東京都イントレ)、及び東京都レフリーアカデミー(以下東京都アカデミー)がスタートしました。2017年度よりJFA推進事業として地域協会からスタートした事業が都府県にも展開され実施されています。東京都イントレは審判指導者としての指導スキルの向上を目的として、5つの指導スキル(チューターリング、プラクティカルトレーニング、ITスキル、フィジカルコーチ、レフリングアナリシス)のコースについてそれぞれ履修し、修了者にスキル認定をしていくものです。



(アカデミートレセンの様子)

また東京都アカデミーは22歳以下の将来性のあるS3級若手審判員を対象に、一年間の期間で集中的な育成指導を行い、2級審判員への育成、更にはトップレフリーを目指す地域アカデミーへと繋げていくものです。

去る6月13日、27日の二日間、東京都イントレとアカデミーの共同事業として駒沢第二球技場にてアカデミートレセンが実施され、イントレ履修者によるプラクティカルトレーニングが実施されました。参加した指導者、及びアカデミー審判員ともに良い学習機会となりました。